

# 地域との絆を紡いで16年

～ボランティア共生大学の取組～

熊本県立荒尾支援学校

「ボランティア共生大学」は、地域の方々が本校の教育活動を支援していただくボランティアサークルです。気軽に地域の方々に参加していただき、子どもたち・教職員とのふれあいを深めることで、学校と地域社会が一体となった共生社会を実現しようという目的で開講されました。本年度で16年目を迎えています。

現在の会員数は16名で、20才代から70才代と幅広い年齢層の方々にご協力いただいています。中には10年以上も活動に参加されている方々もおられ、子どもたちとの交流や支援を生き甲斐に感じておられます。また、開講式・閉講式等で会員同士の交流も楽しみにしておられます。

運動会やまつり（学校祭）、環境美化作業などの諸行事や、各学習グループの学習活動に参加いただいています。「地域連携部」が窓口となり、活動前に募集のハガキを送付するなどして、計画立案、運営、会員の募集を行っています。「ボランティア共生大学」の合い言葉は「できるときに、できるだけ」。会員の方が負担感を持たずに長期に渡って活動していただけるよう配慮しています。

また、年に3回「ボランティア共生大学だより」を発行し、会員や本校保護者に配付したり、ホームページに活動の様子を掲載するなどして情報発信も行っています。本校のキャッチフレーズ「ぼく わたし かがやいています」のとおり、ボランティア共生大学の方々と子どもたちの輝く笑顔があふれています。



笑顔で歌っています



運動会での道具の準備・片付け



新入生歓迎会で一緒に話を聞いています